

## 「安全」を追求し「ルール」を徹底することで、 高い品質と生産性を両立させていきます。

新居浜工場はヤスハラケミカルの主力と言える生産拠点で、この工場での生産性は全社的に大きなインパクトを持ちます。より生産効率を高めるための新居浜工場の運営方針と改善への取り組み事例についてご紹介します。



運営基本方針…安全衛生、品質、環境、生産性及び工場運営全般において、継続的な改善を推進し、成長し続ける工場の実現を目指す。

重点項目…………… 1. 手順・基準の見直しとその教育の徹底 2. 復唱・復命の徹底と、班長を中心とした管理体制の構築

### 「ルールを守る」ことを 新居浜工場の文化にしたいと考えています。

新居浜工場 工場長 田中 功二(左) 製造課 課長 河野 全秀(右)

#### — 新居浜工場の生産効率向上に関する 基本方針をお聞かせください。

**田中** 工場の使命は、操業を止めることなく、高い品質と生産性を両立させることにあります。そのために、まずは「安全」を追求しながら、「ルールを守る」ことを重点的に取り組んでいます。

具体的には、班長を中心とした体制を構築し、連絡や報告の基本となる「復唱・復命」を徹底するようにしています。かつては班長も、現場の中で班員と同じように実務を行っていたのですが、それでは班全体へ目が十分に行き渡らないこともあります。そこで数年前より班長は実務から離れて、班全体のマネジメント業務に集中できる体制を整えています。

その結果、2017年は一年間、無事故・無災害を達成することができました。

#### — 班長を中心とした「復唱・復命」はどのような取り組みですか？

**河野** 日常業務の中で何かトラブルが発生すると、迅速に対応することを優先し担当部署に直接連絡しがちですが、班長を経由せず連絡するとトラブルの根本原因を工場全体で把握することが難しくなります。そこで、連絡や報告はまず班長に行うことを周知しています。そうするとトラブルへの対応を含め班長がすべてを把握し、各種会議や朝のミーティング時に適切な指示・報告ができ、工場全体での共有化につながっています。

生産現場では、常に問題意識を持って仕事をするのが大切です。この設備はなぜこうなっているのかと考えることや、この設備を別の仕事にも使えないかなど気づくことで生産性は向上します。最近、自身の考えや気づきを自主的に発言したり、問題解決の報告ができる人が増えてきましたが、それも「復唱・復命」や情報交換を積極的に行っている成果だと思います。



#### — 生産性向上に役立った 改善の具体例を教えてください。

**河野** これまで行った蒸気ボイラーの酸素濃度制御やオレンジオイル精留塔転用などは、高い省エネ効果を上げた事例です。大きな設備改修を伴わない日々の改善活動も柔軟に行えるよう、2017年から課単位の提案から、テーマ単位のチーム編成に切り替えたところ、業務改善活動がより活性化してきたと感じています。

具体的には、バケットコンベアの樹脂こぼれ改善\*やコンテナ荷受け作業の安全性向上、高圧ガス配管・熱交換器の耐食金属化などのテーマでの取り組みがあります。どれも、安全性の向上や品質改善など、確かな成果を上げています。

\*次頁の「業務改善事例」をご参照ください。

#### — さらなる生産性向上のための 今後の課題や方向性を教えてください。

**田中** 私は、生産性を高めるには、誰もが同じ作業を同じようにできることが大切だと考えています。そのため作業手順を見直し、作業基準書の再整備を進めているのですが、この見直しには、なるべく多くの人の参加を促しています。作業基準書の見直しに関わると、実際の作業における問題点に気づきやすくなり、それが新たな改善の機会になるという、いいスパイラルにつながるからです。

そして最終的には、「ルールを守る」ことを新居浜工場の文化にしたいと考えています。



## 業務改善事例

### 生産と保全のスタッフがアイデアを出し合い、 バケットコンベアの樹脂こぼれを改善しました。

ビーズ状樹脂搬送工程では、バケットコンベアで15mの高さまで運んで充填しますが、最上階の筐体水平部に樹脂ビーズがこぼれるため、定期的な高所清掃が必要で、担当者にとって大きな負担となっていました。また、調査の結果、樹脂こぼれは地上の筐体水平部でも起こることがわかり、生産スタッフと設備保全スタッフで業務改善グループを組み、改善に取り組み始めました。

地上水平部ではスクレーパーでバケットの内側に落とす工夫に加え、新たな空気の流れをつくり小さな樹脂まで内側に落とし、こぼれを削減しました。最も苦労したのは、最上階水平部でのこぼれの原因をつきとめることでした。当初は風の影響だと考えて様々な対策をしたのですが効果が上がらず、何度も最上階まで上って確認を行った結果、投入の際に小さな樹脂がバケットの裏側に付着することを発見しました。バケットの裏面をエアブローし樹脂の付着を防ぐ対策で、清掃作業を大幅に削減しました。地上でも最上階でも、改善に既存エア設備を活用することで、少ない改修コストで大きな効果が得られました。

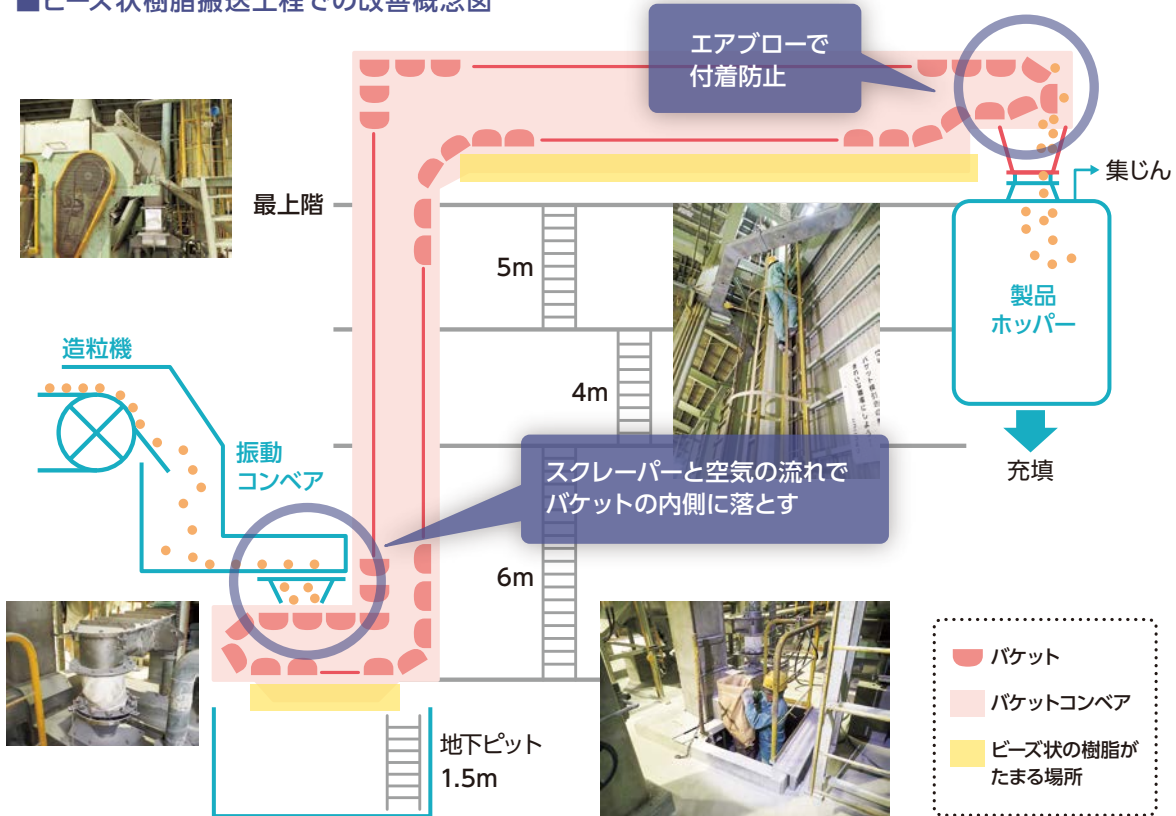
新居浜工場内には古い設備も多く、改善により大きな効果が期待できる箇所も多いと思います。テルペン樹脂生産設備内での手動作業を自動化するなど、今後も様々な提案を行っていきたいと考えています。

業務改善  
活動グループ  
「ゴールド」  
メンバー  
新居浜工場  
製造課  
小林 可南子



業務改善活動グループ「ゴールド」のメンバー

#### ■ビーズ状樹脂搬送工程での改善概念図



樹脂こぼれによるロスを **40%削減!**